

コクワガタ

澄川森林活動日。薪づくりチームに参加し、薪材の玉切りをチェーンソーでやっていました。他方で薪割をしていた三橋さんから呼ばれまして示されたのが、右の写真のクワガタムシでした。捕獲した場所は前年玉切りをした場所なので、オガクズが床に厚く積まれている上に、前回割った新しい薪が集積されていたので、クワガタが寄り付いたのだと思われます。ミヤマクワガタかも、との意見が聞こえましたが、それにしては小さいので、取り敢えずデジカメで撮影。撮影日時は2018年6月2日10時46分でした。

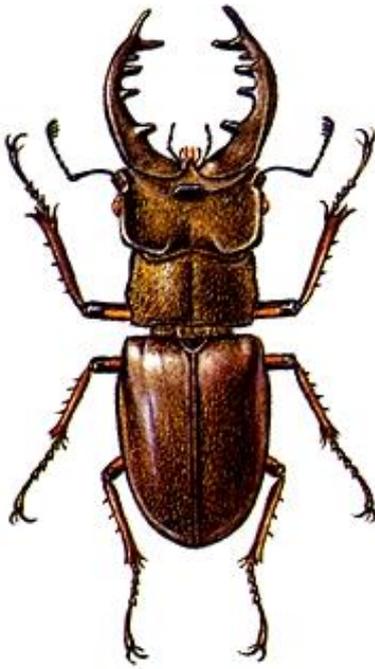


帰宅してから図鑑をめくりましてコクワガタと判定しました。コクワガタは九州での昆虫少年時代は馴染

みの虫でして、しばしばお目にかかっておりました。分布も全国区。幼虫は朽木であればなんでもござれの雑食性です。成虫は樹液にもよく集まるので、採集に苦労はありませんでした。次頁にクワガタムシの比較できる図を添付しておきます。コクワガタは大顎の牙にある内歯(トゲ状の突起)が一对のみで、先端部近くに小さな内歯があるものもいます。大きさは17~54.4mmとWikipediaにありました。仲間内では小さくはありませんで、小さい意味の小(コ)を頭につけたのは命名者の主観であるようです。中クワガタがふさわしい命名かも。

図鑑「札幌の昆虫」にはこのコクワガタの他にノコギリ、ミヤマ、スジ、アカアシ、ヒメオオ、オニ、ツヤハダの9種類が掲載されています。ノコギリ、ミヤマは澄川森林で出会っておりまして虫シリーズで既に紹介しました。特にミヤマクワガタとの出会いは2015年8月15日で、孫連れの澄川訪問で、♀のクワガタもゲットしていたのです。♀のクワガタは種類がわかりにくいのですが、その♀を飼育した孫たちが、卵を産んで幼虫が孵化したとあって、2匹の幼虫を飼育ビンにいれたのをジイジにくれました。一匹は死なせてしまいましたが、1匹は成虫にまで育ちましたが、みのミヤマクワガタでした。2017年4月雪が消えてから澄川の森に返しました。

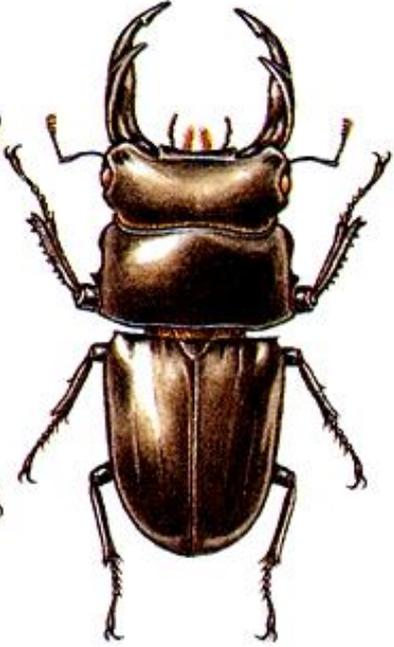




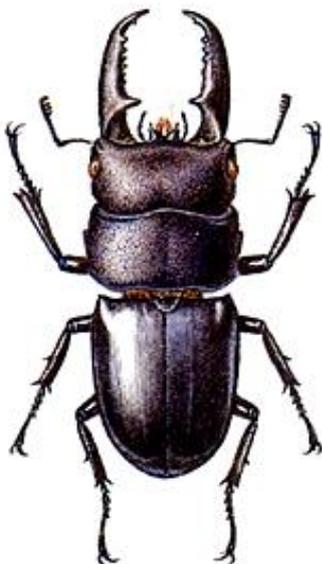
ミヤマクワガタ



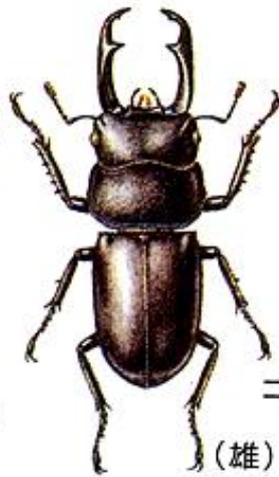
ノコギリクワガタ



オオクワガタ



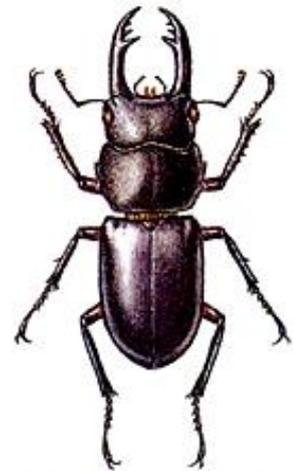
ヒラタクワガタ



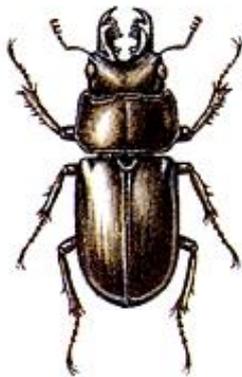
(雄)



コクワガタ (雌)



アカアシクワガタ



オニクワガタ



ネブトクワガタ



チビクワガタ



ルリクワガタ



ツヤハダクワガタ



マダラクワガタ